

レジメン名		略名		1クールの日数
ニボルマブ・イピリムマブ療法(肝細胞癌)		NIVO+IPI		21日
適応病名	切除不能な肝細胞癌		所要時間	1時間30分
実施部署	☒ 外来、 ☒ 病棟、 ☐ その他()		放射線療法	☒ なし、 ☐ あり
適応分類	☐ 初発、 ☒ 進行・再発、 ☐ 術後補助、 ☐ 術前補助、 ☐ 超大量、 ☐ 遺伝子、 ☐ その他()			
適応時表示コメント	☒ なし、 ☐ あり	添付資料	☐ なし、 ☒ あり 有効性および安全性	
臨床使用分類	☒ 治療 (エビデンスレベル ☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5) ☐ 研究(☐ 多施設自主研究、 ☐ 単施設自主研究、 ☐ 市販後臨床試験、 ☐ 治験、 ☐ その他)			
エビデンス	☐ ガイドライン、 ☒ 文献、 ☐ その他			
ガイドライン文献名	Nivolumab plus ipilimumab versus lenvatinib or sorafenib as first-line treatment for unresectable hepatocellular carcinoma (CheckMate 9DW): an open-label, randomised, phase 3 trial			
番号	抗癌剤名(商品名)・略号	1日投与量	投与方法	投与日(d1,d8等)
1	オプジーボ(ニボルマブ)	80mg	30分以上かけて	d1
2	ヤーボイ(イピリムマブ)	3mg/kg	30分以上かけて	d1
3				
4				
5				
6				
7				
8				
その他 (減量・増量規定など)	・オプジーボ・ヤーボイ併用を4クール施行する。その後、オプジーボ1回240mg2週間毎または1回480mg4週間毎点滴静注する。 ・オプジーボ終了後、30分以上間隔をあける。			

秋田赤十字病院 がん化学療法評価委員会

癌化学療法処方

レジメン名 ニボルマブ・イピリムマブ療法(肝細胞癌)

(下に前投薬からの投与方法を記載)

Rp	医薬品名	投与量	投与ルート	点滴時間・速度 ルートキープ用
①	生理食塩水	100ml	div	
②	オプジーボ点滴静注20mg 生理食塩水	80mg/body 100ml	div	30 分
3週間間隔で4回点滴静注。その後は1回240mg2週間毎または1回480mg4週間毎点滴静注。				
③	生理食塩水	50mL	div	30 分
④	ヤーボイ点滴静注 生理食塩水	3mg/kg 50ml	div	30 分
3週間間隔で4回点滴静注。				
⑤	生理食塩水	20mL	div	フラッシュ用